

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	おやきの会活性化事業
事業主体 (連絡先)	合同会社麻績おやきの会 宮川幸子
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	666,468 円 (うち支援金: 449,000 円)

事業内容

麻績おやきの会の活性化への課題として、・新商品の開発・商品の認知度を上げること・後継者の育成・売り上げの増加、これらの課題を解決するために、必要な機材をそろえ、他団体や住民と連携しながら活性化を目指しました。

- ・乾燥機・冷凍ストッカー導入による新商品開発
- ・他団体と連携して、おやきづくり体験や講習会の開催



【田舎体験楽校おやきづくり体験】

【目標・ねらい】

- ① 新商品の開発
- ② 商品の認知度の向上
- ③ 後継者の育成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 乾燥機・冷凍ストッカーの導入により新商品開発の幅が広がりました。また、村内の他団体が栽培するスペルと小麦を使ったおやき(世界初)も商品化に目途がつけました。
- ② 村内の他団体と連携し、おやきづくり体験や県外のイベントに参加し、当会だけでなく総合力でPRすることができました。
- ③ 村内でおやきづくりの講習会を行うことで、当会に興味を持っていただく方が増えました。

※自己評価【 B 】

【理由】
講習会の開催回数が目標としていた回数できなかった。
乾燥機の貸し出しについて、広く呼び掛けることができなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も、他団体との連携を強め、お互いの良いところを活かしていける活動をしたいです。おやきづくり講習会の開催を継続し、会の後継者になりえる会員を増やす取り組みを行います。乾燥機の貸し出しを充実させ、新たな商品に結び付く具材を試作していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある